

Architect's Gallery

わたしのフォトメモ——街並み編 | 藤本壮介 | Sou Fujimoto



思いどおりにならないもの

ヴェネスの驚きとは、水という自然が人工物であるまちと、際どく共存していることだ。

この水は静かに見えるが、しかしそれはれっきとした自然だ。

時に凶暴であり、人間が長い歴史の中で何とか遠ざけようとしてきた自然。

その自然が、まちのど真ん中を貫通し、まちの骨格をつくっている。

人々はその自分たちの思いどおりにはならない自然というものを、かえって楽しんでいるようだ。

なぜなら僕たちは、思いどおりにならないものたちと、日々、関係を再構築しなくてはならないから。

日々、自分自身を再構築していく感覚。

それこそが“思いどおりにならないもの”が生み出す豊かさなのかもしれない。

撮影地:イタリア・ヴェニス | 撮影:2010年

ふじもと・そうすけ——建築家/1971年生まれ。東京大学工学部建築学科卒業。2000年、藤本壮介建築設計事務所設立。2009年-、東京大学特任准教授。

主な作品:情緒障害児短期治療施設[2006]、House N[2008]、武蔵野美術大学 美術館・図書館[2010]など。

主な著書:『藤本壮介—原初的な未来の建築』[共著、INAX出版/2008]、『建築が生まれるとき』[王国社/2010]など。